

備前市 事務事業 評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要			
事業開始年度 H17年度～			
総合計画	大項目	基本目標	05 住民主体の協働のまちづくり
	中項目	基本施策	02 ふれあい豊かなまちづくり
	小項目	施策	01 地域間・国際交流
事務事業名		01	国際交流事業
		問	担当課(室) 企画課
		先	職・氏名 協働推進係長・下林博樹
			電話 0869-64-1871

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	市内在住の小学5・6年生及び中学生及びその家族、国際交流協会会員
目的(何のために)	海外の人々との交流や各地の視察を通じて異文化理解、語学習得を活性化し、地域づくりの推進力となる国際性豊かな人材の育成を図る。
行政活動(どのような方法で)	・ホームステイによる相互訪問の手配 ・国際理解講座の実施 ・国際団体等への助成
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	交流人口を増やすことで市民の国際理解を、グローバルな視野を持った人材を育成する。

事業の実績					
活動	実施項目	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	外国人との交流(派遣)	人	0	39	19
	外国人との交流(受入)	人	243	0	141
	研修会の開催	回	2	12	2
	国際関係団体助成金等の支出	件	4	5	5
	外国語標記パンフレット配布	回	2	2	2
国際関係団体主催の交流参加者	人	79	861	1,595	
実績	直接事業費	千円	1,637	7,799	1,693
	必要人員人件費	千円	0.65人	0.62人	3,777
	事業費計		5,707	13,428	5,470
	国県支出金				
	受益者負担			3,840	
	繰入金	千円	700	1,000	700
市債					
その他( )					
一般財源		5,007	8,588	4,770	
受益者負担比率	%		28.6%		

結果指標	結果指標名	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	交流参加者	説明	オーストラリア・韓国を隔年で訪問		
	結果指標量	人	243	39	160
	対前年比	%	-	16.0%	410.3%
結果指標	結果指標名	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	交流参加者	説明	助成事業による交流参加者		
	結果指標量	人	79	861	1,595
	対前年比	%	-	1089.9%	185.2%
結果指標	結果指標名	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	交流参加者	説明	助成事業による交流参加者		
	結果指標量	円	980,000	1,533,000	1,684,000
	対前年比	%	-	155.7%	172.2%

事業の成果					
交流参加者数	成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
	到達目標値	目標値(A)			1,000
	到達目標値	実績値(B)	322	900	1,755
	到達目標年度	達成率(B/A)			1.755
到達目標年度 H20年度					
成果指標設定の考え方・式や説明					
国際交流事業に参加した市民の数					

事業の目的、対象、内容を考えてから目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価			(平成20年度事業)	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたさず <input checked="" type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	妥当性評価 <A-E> <b>B</b> 判定理由・課題認識 オーストラリアとは姉妹都市協定、韓国とは文化交流協定を締結しているため、本市の関与が必要である。具体的交流事業の実施は、民間へ移行していくことが妥当である。
			<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い 説明 備前市国際交流協会	効率性評価 <A-E> <b>D</b> 判定理由・課題認識 派遣の年と受入の年で費用に差が生じる。派遣・受入ともかなりの事務量が発生することから備前市国際交流協会と役割分担することで効率性を高めたい。
有効性の評価	コスト	市民参画度	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託会)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	有効性評価 <A-E> <b>B</b> 判定理由・課題認識 現在、行政主体で事業を実施しているが、交流の相手先はいずれも民間団体が主体となっているため、備前市国際交流協会へ主体をシフトしていくことでより市民レベルでの交流を促す必要がある。
			<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている

平成21年度の状況					
目標値	結果指標量	0	結果指標量	100	成果指標量
					100
状況	拡充		現状継続		見直し
	縮小		整理統合		休止・完了
説明	オーストラリア・韓国とも受入のみ実施した。また、中国雑技団招聘事業の実施により交流者数が大幅に増加した。				

総合評価		
姉妹都市等との交流については、本市の関与が必要であるが、相手先はいずれも民間団体が主体となって事業実施を行なっているため、備前市国際交流協会へ実施主体をシフトすることで、市民レベルでの交流を進めることが、国際交流事業に広がりを持たせる意味でも有効である。	評価区分 <A-E>	<b>C</b>

平成22年度以降の方向性・内容					
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合
説明	備前市国際交流協会が主体となって事業実施を行なう。				
改善がある場合	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果	
	効率性	参加者負担金の見直し	H21.4	経費節減	
	有効性	備前市国際交流協会主体の事業実施	H21.4	市民の参画度を上げる。	
	妥当性	市民主体の国際交流事業の推進	H21.4	市民が気軽に国際交流に参画できる。	